

まちづくり交付金 事後評価シート  
JR穂積駅周辺地区

平成21年12月

岐阜県瑞穂市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	瑞穂市		地区名	JR穂積駅周辺地区			面積	190ha		
交付期間	平成18年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	852百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(市道3-3-138号線他1路線、市道3-3-195-1号線、市道5-3-355号線、市道3-2-20号線他2路線)、高質空間形成施設(市道3-3-138号線、市道2-3-92号線他10路線、市民センター)									
			提案事業	事業活用調査((主)北方多度線)、地域創造支援(子育て支援施設)									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	市道2-3-123号線他24路線(路肩舗装)			整備路線の見直しに伴い削除。			特に影響なし			
			提案事業	地域創造支援(堤防坂路整備)			現在の利用状況及び整備後の事業効果について、詳細調査・再検討を行った結果、利用頻度が低く、事業実施効果はあまり望めないため削除。			影響なし			
	新たに追加した事業		道路(市道4-1-353号線)			主要な公共施設へのアクセス道路としてバリアフリー化を行い、安全で快適なまちづくりを目指すため追加。			影響なし				
			地域生活基盤施設((仮称)別府ふれあい広場)			子供やお年寄り等が安心して集える場所を整備することにより、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりを推進するため追加。			影響なし				
			市道2-3-111号線他7路線(路肩舗装)			市道2-3-123号線他24路線(路肩舗装)の整備路線の見直しに伴い、延長減として追加。			特に影響なし				
			提案事業			事業活用調査(事業効果分析調査)			各評価項目の計測又は確認等を行い、事後評価が円滑かつ確実に進められるよう追加			影響なし	
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	変更なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	バリアフリー化満足度	%	8	H16	21	H21	-	57	○	あり なし	まちづくり協議会で住民の意見・要望を取り入れ、JR穂積駅周辺地区内のバリアフリー関連事業が十分に整備されたことから、バリアフリー化満足度については高い評価が得られた。	平成22年10月頃
	指標2	遊歩道整備率(市内全域)	%	16	H17	37	H21	-	37	○	あり なし	快適歩行空間ネットワーク整備のため、JR穂積駅周辺地区内での遊歩道整備を行い、それにより市内の遊歩道整備率が増加した。	平成22年10月頃
	指標3	子育て支援地域カバー率	%	20	H17	80	H21	-	80	○	あり なし	子育て支援対策のため別府保育所の建設・供用を行ったことにより、順調に子育て支援地域カバー率が増加した。	-
指標4													
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	遊歩道整備率(JR穂積駅周辺地区)	%	0	H17	/	-	100	/	/	快適歩行空間ネットワーク整備のため、JR穂積駅周辺地区内での遊歩道整備を行い、それによりJR穂積駅周辺地区内の遊歩道整備率が増加した。	平成22年10月頃	
	その他の数値指標2	待機児童の数	人	0	H17	/	-	2	/	/	JR穂積駅周辺地区内の3歳未満児の人数は4年間で約1.4倍に(+68人)増加し続けているものの、別府保育所における3歳未満待機児童の数は横ばいに留まっており、効果が発現していると考えられる。	平成22年10月頃	
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	アンケート結果より、本事業対象以外の他路線のバリアフリー化や安全な歩行空間の確保に関する意見を頂いており、まちづくりに対する意識向上が伺える。まちづくり協議会の中でカラー舗装等について委員の方々(PTA等の地元の代表者)から年々良くなっているとの好評価の意見を頂いている。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	・平成18年11月25日にJR穂積駅周辺地区まちづくり計画アンケート調査を実施し、アンケート結果よりまちづくりの課題の整理を行い、まちづくり計画の妥当性について確認を行った。 ・毎年、年に3回程度のJR穂積駅周辺地区まちづくり協議会を開催。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今後も引き続き住民の方々にはまちづくりに対する意見を頂きつつ、協働して円滑かつ確実にまちづくりを進めていくよう努める。		
持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

## 様式2-2 地区の概要

### JR穂積駅周辺地区(岐阜県瑞穂市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 東海道本線「JR穂積駅」を中心としたエリアにおいて、駅や公共施設への移動の円滑化を図るとともに、歩行者空間の安全を確保し、将来にわたって「安全で快適な」そして「誰もが生き生きと暮らせるまちづくり」を推進する。 目標1: 駅を中心に周辺の公共施設や歩道等のバリアフリー化を進めるとともに、徒歩や自転車で通う駅利用者の通勤・通学等の利便性や安全性の向上を図り、歩きやすいまちを目指すべく「安全で快適なまちづくり」を推進する。 目標2: エリアを周遊する遊歩道の整備により、市民の健康増進を図り、「誰もが生き生きと暮らせるまちづくり」を推進する。 目標3: まちの課題である高齢化対策や子育て支援対策のため、市総合センターでの生涯教育の実践や、駅北側に子育て支援のための拠点を整備するとともに、将来に向けた「活気あふれるまちづくり」を推進する。	バリアフリー化満足度	単位: % 8	H16 21	H21 57
	遊歩道整備率(瑞穂市全域)	単位: % 16	H17 37	H21 37
	子育て支援地域カバー率	単位: % 20	H17 80	H21 80
	遊歩道整備率(JR穂積駅周辺地区)	単位: % 0	H17 0	H21 100
	待機児童の数	単位: 人 0	H17 0	H21 2

#### 道路



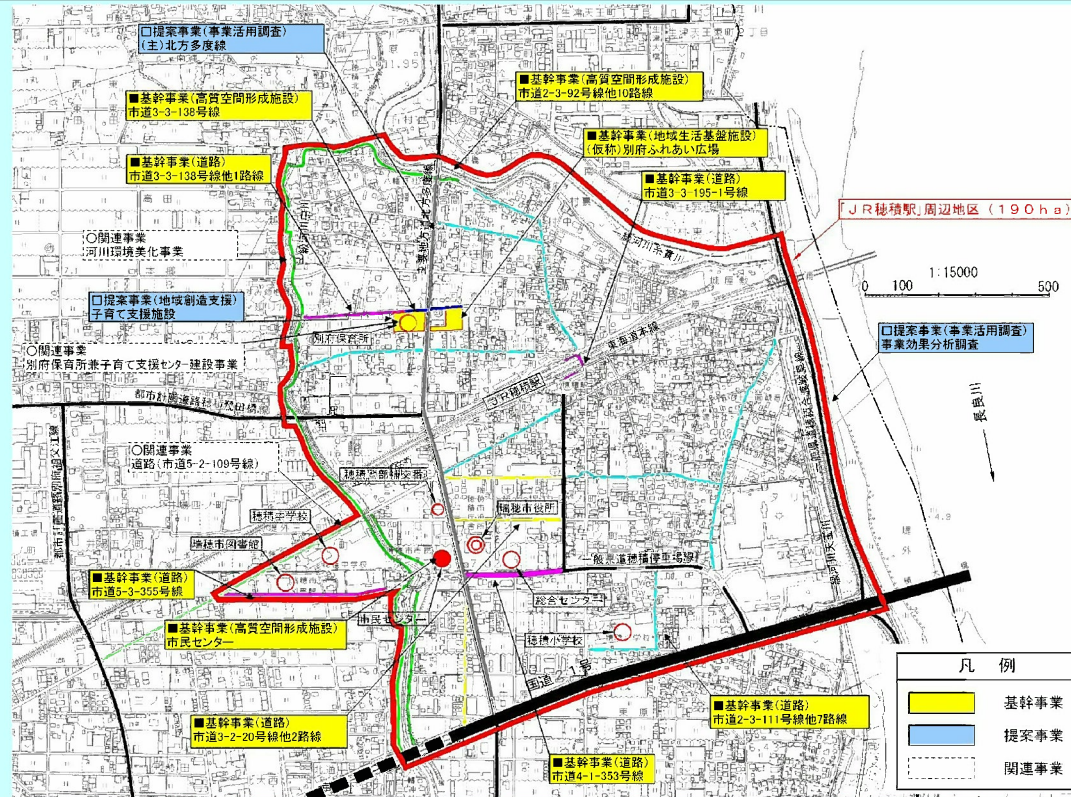
市道3-2-20路線他2路線



市道5-3-355号線



市道3-3-138号線他1路線



#### 高質空間形成施設



市道2-3-92号線他11路線  
(中川遊歩道)



市道3-3-138号線  
(別府保育所前スロープ)

#### 地域創造支援



子育て支援センター

#### 地域生活基盤施設



(仮称)別府ふれあい広場

#### 事業活用調査



まちづくり協議会  
現地視察



まちづくり協議会  
先進地視察(豊田市)

#### まちの課題の変化

・本事業での整備により、当地区において「安全で快適な」そして「誰もが生き生きと暮らせるまちづくり」の推進のための基本的な都市整備は整うことになる。  
 ・今後は、これを基に魅力あるまちづくりや更なる交通安全対策、バリアフリー化に対する取り組みを進め、中心市街地の活性化につなげていく必要がある。

#### 今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- 魅力あるまちづくり  
駅を中心とする玄関口の装いを整えると併に、生活環境の向上を図り、まちの顔づくりを行う(駅前広場の再整備、駅前の魅力づくり)。
- 更なる歩道や施設のバリアフリー化  
住民の意見を反映させつつ、引き続き歩道や施設のバリアフリー化を図るべく、整備箇所の決定・事業化を進めていく。公共交通の利便性向上(駅南側ロータリーへのバス乗入れ)。
- 更なる安全な歩行空間の確保  
住民の意見を反映させつつ、引き続き安全な歩行空間の確保を図るべく、整備箇所の決定・事業化を進めていく。自動車への規制による歩行者安全性の向上(細街路の一方通行化、時間通行規制の導入検討)。
- 待機児童解消・穏和方策  
別府保育所建設により一定の効果が発現しており、今後はソフト対策も組み合わせることで、より一層の待機児童解消を図っていく。
- 生涯学習の環境整備  
少子高齢化対策の一環として、市総合センターでの生涯教育等を実践する等の環境整備を行うことで、「活気あふれるまちづくり」を推進する。